

生産性向上支援訓練 利用者の声

Training to Support Productivity Improvement

旭ダイヤモンド工業株式会社 三重工場 様

所在地 三重県伊賀市
従業員数 402名(2021年10月1日現在)
事業内容 主にダイヤモンドおよび高硬度物質を応用した工業向け工具の製造販売、宝飾関係の加工販売
三重工場では電子半導体、機械工具、輸送機器、建設関連向けの各種切削、研削工具の製造を実施



■ 支援概要

把握した課題と要望

- 現場では経験から培ったノウハウが沢山あるが、感応的な部分が多く、作業計画や進捗管理が現場任せになり、近年は原価比率も悪化しつつあった。
- 業務改善を進めるには作業員全員の原価意識を高めること、そのためには時間の概念を持って作業を進めること、合わせて現場における問題発見力や課題解決の手法を学ぶことが必要と考えた。



訓練後の成果

- 自分の仕事に自覚と一層の責任感を持てるようになった。
- 時間の概念を持つことで原価に対する意識が高まった。
- 個人プレーからしっかりとコミュニケーションが取れるようになり、連携して取り組めるようになったことで活発な発言や活動に取り組む姿勢が変わった。

生産性向上支援訓練

提案内容

「業務効率向上のための時間管理」をきっかけとして、いかにして組織内で業務改善意識を高めていけば良いかを考えるカリキュラムを提案した。

受講した訓練

コース名：「生産現場の問題解決」「業務効率向上のための時間管理」
実施時期：令和3年4月～7月
受講者数：延べ55人

■ 利用者の声

事業主の声

Q 感想を教えてください。

A 自社内を会場とすることで多人数で受講することができました。研修は「業務効率向上のための時間管理」「生産現場の問題解決」をそれぞれ開催し、同一コースを管理職から一般職まで受講しましたが、内容をそれぞれの立場にカスタマイズができ、それでいて方向性が共有されベクトルを合わせることができました。特に良かったことは普段部門間の交流は殆どありませんが、グループワークで他部門の参加者と意見交換が出来たことは活動の幅が広がるものと思います。研修後は習得した内容を自部署で報告する時間をつくり実施したことで一層の理解が深まりました。

Q 今後どのように訓練を活用していきたいか教えてください。

A 改善活動を継続するには目標を全員が共有し意識を合わせることが重要だと思います。外部講師による指導、実体験などを交えた講義は良い刺激になります。受講者以外の業務でもまだまだ個人プレーの作業が多く、問題提起や課題解決をグループで取り組む重要性や手法を習得・実行するために今後も訓練を利用していきたいと考えています。

受講者の声

Q 感想を教えてください。

A 話を聞くだけでなく、合間にディスカッションを挟む形式であったため、最後まで集中して受講することができました。また内容の面では「改善」に対する考え方、取組方法を実践形式で学べたのも良かったです。訓練後は、各工程の作業で「あるべき姿」を意識するようになりました。どうすれば、ばらつきを少なく出来るか、また作業の必要性を考え、不要であったり、簡易的な方法をブレインストーミングで調整・置き換えをし、作業のムダをできる限り省けるように取り組んでいます。

Q 今後の抱負を教えてください。

A 改善活動は考える人数が増えた分だけいろいろなアイデアが生まれる可能性があると思います。小さな内容でもアイデアをどんどん出すことで周りの人を触発して、改善の良い雰囲気づくりができればと思います。



受講者 松島様